

利益を生む  
体質にしたい！

従業員の意識が  
向上しない…

中小製造業者の皆様へ

# ものづくり現場の 「お悩み」 おまかせください

現場改善の  
効果が  
でない…

生産性を向上  
させたい！

現場管理の  
人材を  
育成したい！

**現場改善**

+

**人材育成**

=

**利益を生む現場**

ぐんま改善チャレンジのご案内

公益財団法人群馬県産業支援機構

平成28年度版

Let's  
Challenge!

# 現場改善に今すぐチャレンジ！

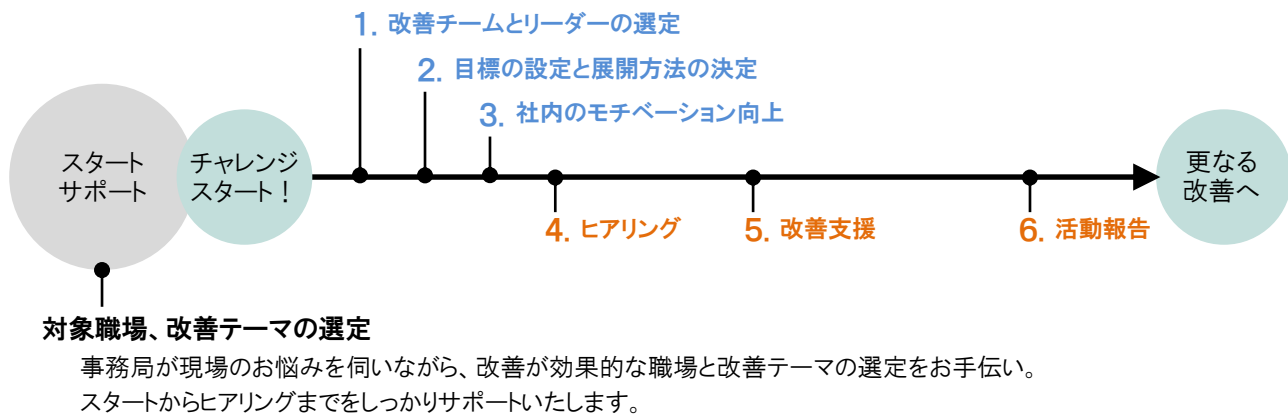
「ぐんま改善チャレンジ」は、現場改善を通して**人材を育成し、改善を継続**させるための支援事業です。やらされ感ではない、改善の**成功体験**をぜひ実感してください。

「現場改善にどこから取り組んでいいかわからない…」「改善活動が定着しない、発展性が無い…」こうしたお悩みを抱える企業様に、「群馬ものづくり改善インストラクター」を派遣。改善のPDCAサイクルを回して、「**自ら改善できる人材**」を育成します！



イメージ

## 「ぐんま改善チャレンジ」活動モデル



### ●自社内で

#### 1. 改善チームとリーダーの選定

活動の実行チームとリーダーを決め、チームが常にトップのバックアップを受けられる体制を整えます。

#### 2. 目標の設定と展開方法の決定

自社のあるべき姿と改善の狙いを全社で共有します。また、改善対象職場から全社への展開スケジュールを決めます。

#### 3. 社内のモチベーション向上

改善活動を全社員に説明し、改善チームとリーダーを紹介します。

### ●インストラクターと一緒に

#### 4. ヒアリング

トップとチームリーダー同席で、インストラクターによるヒアリングを実施。改善目標と日程計画を決定します。

#### 5. 改善支援

目標達成に向け、インストラクターの支援のもと改善活動に取り組みます。

#### 6. 活動報告

活動最終日には、チームリーダーが全社に向けて活動のプロセスと成果を報告。自社のあるべき姿を全員で再確認して、更なる改善に続くキックオフとします。

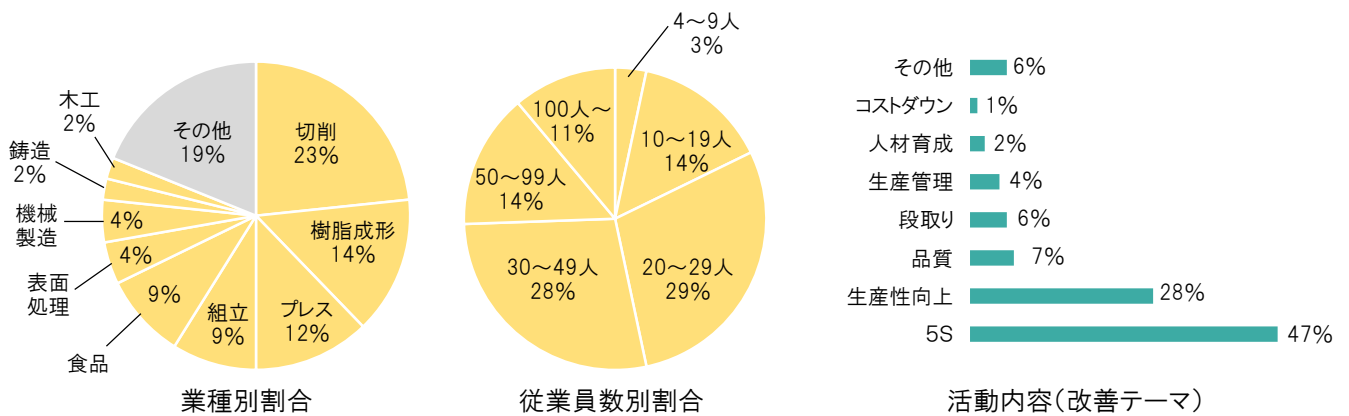
## 事業概要

- ・群馬県内中小製造業者に向けて群馬ものづくり改善インストラクターを派遣し、現場改善活動を支援します。
- ・類型ⅡおよびⅢでは、支援日のうち1回を基礎学習に充て、改善を行うのに必要なQCDF(※)の基礎知識を学びます。(※・・・Quality、Cost、Delivery、Flexibility)

|      |   |
|------|---|
| 対 象  | 群馬県内に事業所を有し、インストラクターの派遣により改善効果が期待できる中小製造業者。   |
| 費 用  | インストラクター1人あたり1回20,000円。<br>総費用のうち1/2を群馬県産業支援機構が負担いたします。<br>例)20,000円×2人×5回=200,000円の場合、1/2の100,000円が企業様のご負担分です。 |
| 募集期間 | 随時募集します。但し、申し込み多数の場合、募集を終了することがあります。  |

特定の業種への偏りは無く、様々な業種の企業様にご活用いただいているほか、従業員数49人以下の企業様が3/4を占めており、改善活動の裾野が広がっています。

また、「ムダ・ムリ・ムラ」発見のベースとして、多くの企業様が「5S」に取り組んでいます。



**A社(樹脂成形)** テーマ:不良削減

全体不良が80%減、年間の金額換算で約750万円の利益増。

**B社(加工・組立)** テーマ:サイクルタイム短縮

対象職場で25%以上、工場全体でも10%を超える短縮。

**C社(精密板金)** テーマ:5Sの定着

5S評価が55%向上、工場を視察した新規大手顧客からの受注を獲得。

**D社(切削)** テーマ:生産性向上

対象2工程で段取り時間が60%短縮、生産性も130%の向上。



- 一方通行の「指導」だけでは、なかなか自主的に改善出来るようにはならないが、メンバーがやる気を出して取り組めるように支援していただき、職場を自分たちで良くできる、という自信が付き、社内の雰囲気が変わった。
- 現場の若い社員の意見に耳を傾け、自主性を尊重する指導をいただいた。おかげで個人の課題解決能力を高めるとともに、現場の意見が職場を変える実感を持たた。
- 何事も決めつけず色々な角度から考えてみることや、まずは「やってみる」ことの重要性に気が付いた。新しいことに挑戦しようという意気込みが出てきた。

「ぐんま改善チャレンジ」の改善支援は3タイプ。課題に合わせてお選びください。

|             |   | 支援活動<br>上限回数 | 派遣インストラクター<br>人数      | 活動期間<br>の目安 |
|-------------|---|--------------|-----------------------|-------------|
| <b>I型</b>   | <b>スタートタイプ。</b> テーマを絞り込んだ集中的な活動に。改善のPDCAサイクルを体験し、継続的な改善を行うための「きっかけ作り」を行います。     | 5回           | 2人                    | ～3か月        |
| <b>II型</b>  | <b>ステップアップタイプ。</b> 複数テーマへの取り組みや、既に実施した改善活動の水平展開に。5回の支援を一区切りとして、全10回までの支援が可能です。  | 10回          | 1人                    | ～6か月        |
| <b>III型</b> | <b>アドバンスタイプ。</b> ものづくり全工程の改善に。改善サイクルを繰り返して全社の改善レベルをさらに高め、生産性・品質等の競争力引き上げを目指します。 | 15回          | 3回目まで2人、<br>4～15回目は1人 | 6～8か月       |

## 派遣スタートまでの流れ

### 1. ご相談

まずは事務局までお気軽にご相談ください。担当者が現場のお悩みをお伺いし、「ぐんま改善チャレンジ」についての疑問にもお答えいたします。

### 2. お申込み

お申込みが決まったら、所定のお申込用紙にて事務局までお申し込みください。ご相談とお申込みの内容に基づいてインストラクターを選定いたします。

### 3. ヒアリング(無料)

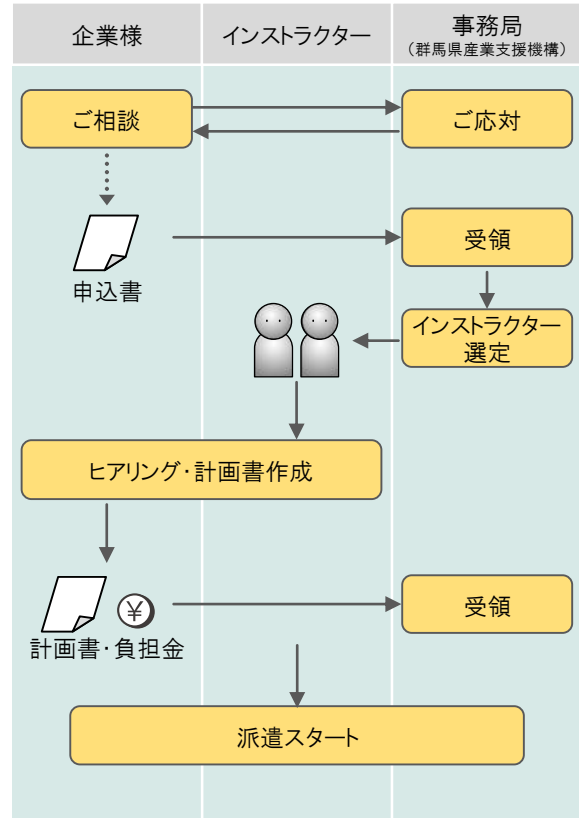
インストラクターが企業様を訪問し、課題やご要望をお伺いの上、計画書を作成いたします。

### 4. 計画書ご提出、負担金納入

計画内容をご確認後、押印のうえ、計画書を事務局までご提出ください。ご提出後、事務局より請求書を発行いたしますので、指定の口座へ負担金をお振込みください。

### 5. 派遣スタート

計画書に基づき、インストラクターの派遣を開始します。



## 良くいただく質問

### インストラクターとして派遣されるのはどんな人ですか？

群馬県では平成22年度より、東京大学ものづくり経営研究センターと連携して「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」を開講し、修了生を「群馬ものづくり改善インストラクター」として認定しています。

「ぐんま改善チャレンジ」では、この認定者であり、かつ大手製造業のOBであるインストラクターを企業様へ派遣しています。

### インストラクターはどのようにして選定されるのですか？

お申込みにあたり企業様からお伺いした課題やご要望に基づいて、事務局がインストラクターを選定いたします。

人選されたインストラクターは候補として企業様へ伺い、改めて課題などのヒアリングを行った上で「改善支援計画書」を作成いたします。この改善支援計画書への企業様のご同意をもってインストラクターを決定します。

### 対象とならない業種などがありますか？

「ぐんま改善チャレンジ」は中小製造業者様向けの改善支援事業です。ものづくり以外の管理技術(※1)、固有技術(※2)、サービス業には対応していません。群馬県産業支援機構では「ぐんま改善チャレンジ」以外にも各種支援事業を実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

※1…海外進出、購買先や販路の開拓等

※2…新技術開発、新製品開発等

### 複数回利用することはできますか？

同じ企業様が「ぐんま改善チャレンジ」を複数回利用することは可能ですが、以下の制限があります。

- ・II型の後にI型、III型の後にI・II型を利用することはできません。
- ・同じ類型を複数回利用することはできません。(年度やテーマが異なっても利用できません。)

お問合せ

公益財団法人群馬県産業支援機構 〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7 公社総合ビル2階 工業支援課 (担当:奈良・横尾) E-mail: watanabe-y@g-inf.or.jp TEL: 027-255-6501

お申込書ダウンロード

<http://www.g-inf.or.jp>(群馬県産業支援機構ホームページ)